

受 講 案 内 詳 細

グループスーパービジョンB

講師 石井 三智子先生

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開催日			22日	27日	24日	28日	26日	16日	14日	25日	22日	22日
開催時間	19時00分～21時00分 第4木曜日開催（11月は第3木曜日・12月は第2木曜日）											
会場 対象者	家庭クラブ会館（JR新宿駅南口徒歩8分） 経験年数1年以上5年未満の方 注：参加に際しては所属機関からの了解を得てください。また、講座での学びを上司へ報告できるような体制で参加してください。 なお、認定医療社会福祉士のポイント申請される方は、 <u>欠席、遅刻、早退</u> がありますと証明書は発行出来ない場合があります。											
定員	9名											
費用	資料代実費 ※東京都受託事業											
申込期間	<u>平成29年5月16日（火）必着</u>											
申込方法	講座申込書に記入し、下記宛にFAXでお申し込みください。（メール不可） 〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-43-11 福祉財団ビル5F											
申込先	東京都医療社会事業協会 事務局 宛 TEL 03-5944-8912 FAX 03-5944-9745											

石井 三智子先生より

今年度のテーマとして、「面接の再考」を考えている。ソーシャルワークにおいて、クライアントや家族の置かれた状況理解、また人間理解の促進のために、面接は、不可欠な大事な方法である。できれば、後者の人間理解の側面に軸足を置きたいと思っている。病気や障害が、その人と家族の人生にとって、与える影響は、時に大きい。それは、ダメージという意味においても、また再生という意味においてもである。医療者は、いのちの保障、痛み（pain）の軽減に関わるだろう。私たちソーシャルワーカーは、人間が感じる痛みや苦しみ、苦難の軽減にどのような方法で、寄与できるのだろうか？人が感じる痛みが

pain であるならば、社会的な痛みや苦しみを与える原因の存在を暗示することばとして、社会的な苦しみ（social suffering）に着目したい。面接を通じたその共有と、相互交流という「面接の原点」について、メンバーとともに探っていきたいと思っている。スーパービジョンの方法としては、ピアグループ的なものをイメージしている。毎月提出される事例について、メンバーによる複数の眼で検討していくことによって、新しい視点や支援策の発見があることを期待したい。下記に示す参考文献は、初回に用意していただく必要はない。適宜、新しいものも紹介する予定である。

参考文献：

- ① 皆藤 章 編・監訳 A・クライマン他著「ケアをすることの意味」誠信書房 2015
- ② A・クライマン他著「他者の苦しみへの責任」みすず書房 2011
- ③ 小森 康永著「ナラティブ・メディスン入門」遠見書房 2015
- ④ 末森 千枝子「人生に大切なことはすべて絵本から教わった」現代企画室 2010